

(2) 棚田地域の振興（農業政策課・佐渡棚田協議会）活動内容

1 佐渡棚田協議会の概要

佐渡棚田協議会（以下、協議会）は、平成23年の世界農業遺産（GIAHS）認定を契機に平成24年に設立され、佐渡市農業政策課が事務局を担っている。地域による生産活動をベースとしながら、都市住民との交流や情報発信などを通して棚田の保全活動に取り組んでいる。

これまでに地域おこし協力隊を受け入れた実績があり、平成28年には離島では初となる全国棚田（千枚田）サミットを開催するなど、棚田の景観が世界農業遺産（GIAHS）の重要な構成要素であることを広く発信している。

2 現状と課題

平成28年に離島では初となる全国棚田（千枚田）サミットを開催してから、協議会の活動が停滞傾向にある。一方で、令和元年に棚田地域振興法が成立し、全国的に棚田を核とした地域振興が注目されている。

佐渡市においては、島内の棚田地域すべてが国の指定棚田地域に指定されているが、少子高齢化による人口減少で担い手が不足しており、事務局機能は行政に依存しているのが実情。

また、島内には104の棚田が存在しているが、協議会に参画しているのは7地域に留まっており、生物多様性の維持、伝統文化の継承、保健休養機能などの棚田地域が持つ多面にわたる機能を適切に発揮していくためには、協議会活動を全島的に広げていく必要がある。

3 地域の将来像

協議会の運営や諸活動の連絡調整を担う人材が生まれ、島内に点在する棚田景観の保全を通じて世界農業遺産（GIAHS）の島であることを発信することで棚田の価値を高め、棚田米の販売促進に加えて棚田地域に人を呼び込み、多様な収入源が確保できる棚田地域を創出したい。

4 協力隊に求める活動内容

佐渡市農業政策課と連携しながら、以下の活動を重点的に進める。

- ① 協議会の事務局活動（役員会等の開催など）
- ② 情報発信（公式サイトへの更新など）
- ③ 棚田を有する集落を対象とした協議会への勧誘活動
- ④ CSR や CSV に関心のある企業への提案活動

5 主な年間活動計画

※活動開始時期：令和3年4月1日以降

1年目	<ul style="list-style-type: none">・ 棚田地域の現状把握・ 協議会の運営（役員会等の開催）の補助・ 情報発信（公式サイトへの更新等）・ 棚田を有する集落を対象とした勧誘活動
2年目	<ul style="list-style-type: none">・ 協議会の運営（役員会等の開催）・ 情報発信（公式サイトへの更新等）・ 棚田を有する集落を対象とした勧誘活動・ CSR や CSV に関心のある企業への提案活動・ 協議会の自立に向けた検討
3年目	<ul style="list-style-type: none">・ 協議会の運営（役員会等の開催）・ 情報発信（公式サイトへの更新等）・ 棚田を有する集落を対象とした勧誘活動・ CSR や CSV に関する企業への提案活動・ 自立した協議会の運営

6 地域の連携体制

佐渡市農業政策課と定期的に打合せする機会を設け、棚田地域の振興に関する情報を共有しながら、効率的に業務が進められるように連携する。

また、生活基盤が安定するような収入の確保、環境整備をサポートする。

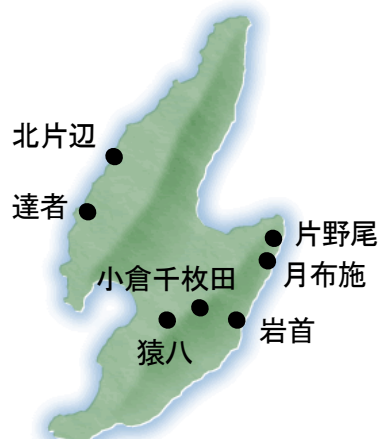
7 退任後の展望

任期中から協議会事業を実行できる自立した組織作りを進め、活動を通して得た経験や人脈を活かし、退任後は事務局として事業運営に携わり、収入が得られる仕組みづくりを目指す。

8 その他

- ① 業務担当：佐渡市農業政策課（佐渡市千種 232 番地）
- ② 佐渡棚田協議会ホームページ：<https://sadotanada.com>
- ③ 佐渡棚田協議会会員地域

- ・ 片野尾
- ・ 岩首
- ・ 達者
- ・ 猿八
- ・ 月布施
- ・ 北片辺
- ・ 小倉千枚田



■会員地域の棚田

【片野尾】



【月布施】



【岩首】



【北片辺】



【達者】



【小倉千枚田】



【猿八】

